北見市立常呂中学校

校長　　佐　藤　拓　也

生徒数　７６名

学級数　４（１）学級

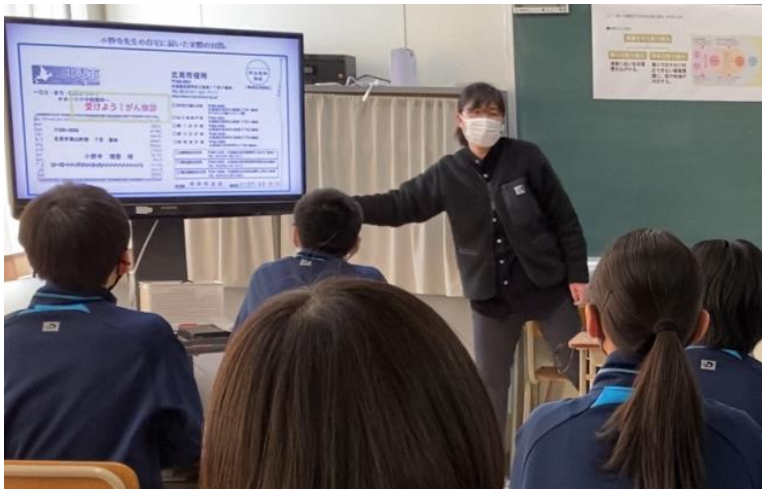
職員数　１３名

子どもたちに寄り添い、自立を支え、希望ある将来へと導く学校経営
－　「やさしい学校」づくり　－

「心に弾力をもち、たくましく未来に向かえる生徒の育成」を目指し、生徒の個性を認め、学校が生徒の居場所となるよう、全教職員で共感・理解・支援型指導を重視して取り組んでいる。教育相談やインクルーシブ教育理念の理解による校内環境づくり、支援体制を構築し、どの生徒にも安全・安心が保障された学校経営を推進することにより、多くの生徒が充実した学校生活を送っていることを実感するなど大きな成果を上げている。

自らを見つめる　－　「体力向上」を目指すとともに「命の大切」を知る　－

令和元年度から「ラジオ体操＋αの取組」や「オホーツク運動プログラム」を実施し、生徒の運動習慣形成に大きな成果を上げている。また、令和２年度「がん教育総合支援事業」の推進校として、自他の健康と命の大切さを知り、自己の在り方や生き方を主体的に考える授業を推進した。「実践の概要」や「がん教育全体計画」は、令和３年度「がん教育実践事例」に記載されるなど、取組を管内外に発信している。



郷土を愛する　－　「地域の教育資源」を生かした教育活動　－

保健体育科で地域スポーツである「カーリング」を取り入れ、地域に誇りをもてる教育活動に取り組んでいる。また、地域の基幹産業である農業と漁業については、ＪＡや漁協との協働で授業を行い、地域への理解を深めている。その他、地域の高齢者への年賀状作成や、オホーツクウルトラ 100ｋｍマラソンにおけるボランティア活動を行うなど、地域を愛し、自ら地域貢献できる態度の育成を図り、保護者や地域の方からも評価を得ている。

地域の学校として　－　「保護者や地域からのエール」　－

自分が学生の時はこのような活動はなく、学校と地域との連携が活発に行われていて良いと感じました。

地元の生徒たちが地元の産業を学んでくれることは大変ありがたく思っております。今後ともよろしくお願いいたします。

いつも生徒たちへのご尽力、本当にありがとうございます。先生方のお陰で楽しく有意義な中学校生活を送っております。

（保護者の声）